

産業廃棄物最終処分場設置等反対に関する決議

産業廃棄物最終処分場については、必要不可欠の施設であることは理解するが、県内における現在の産業廃棄物最終処分場の設置状況を見ると、施設が特定の市町村に偏っている。渋川市においても既に多くの最終処分場を受け入れてきており、県内処分量に占める割合は年々増加している。県内における産業廃棄物最終処分場配置計画を策定し、適正なる配置を促進するようここに要望する。

現在のような状態を続けていけば、本市域の榛名山、赤城山、子持山及び小野子山の丘陵地の自然環境の破壊や災害等の危険性を一層増幅させるとともに、恵まれた地下水に頼っている水道水の汚染さえ危惧される。これらの山々の貴重な自然は、渋川市民共有の財産であることから、これを可能な限り守り、後世に引き継いでいくことが重要である。

よって、本市議会において、産業廃棄物最終処分場設置等の反対について、下記のとおり決議するものである。

記

我が渋川市は、恵まれた水と緑豊かな榛名山、赤城山、子持山及び小野子山の丘陵地の環境保全に努めている。この渋川市の豊かな自然環境を未来へ引き継ぐために、産業廃棄物最終処分場の設置等に対して、今後反対することを決議する。

平成19年12月19日

群馬県渋川市議会